

糸魚川市公共施設等総合管理指針

個別計画

分類：文化施設（市民会館）

第1 市民会館 （文化振興課、福祉事務所）

平成31年2月 策定

令和6年3月 改訂

第1 市民会館

1 施設一覧

(1) 施設総括表（令和5年4月1日現在）

区分	施設数	経過年数別の施設数					
		～10年	～20年	～30年	～40年	～50年	51年～
市民会館	4			2	1	1	

(2) 施設の詳細（令和5年4月1日現在）

施設名称	所在地	建築年 (経過年数)	構造	延床面積 m ²
糸魚川市民会館	一の宮 1-2-1	1974 S49(49)	SRC造	4,222
青海総合文化会館	青海 4657 番地 3	1995 H7(28)	RC造	5,759
能生マリンホール	能生小泊 3596-3	1990 H2(33)	RC造	1,422
ビーチホールまがたま	寺町 4-3-1	1997 H9(26)	SRC造	3,167
計				14,570

※ 鉄筋コンクリート造 (RC) 鉄筋鉄骨造 (SRC)

2 現状と課題

(1) これまでの施設整備規模、配置状況

① 設置経過

市民会館及び青海総合文化会館は、住民の文化芸術活動の拠点として、能生マリンホールは市民・勤労者の交流の場として、ビーチホールまがたまは福祉施設の建設計画から整備に至った。いずれも市町合併前に整備された。

それぞれ利用目的に応じた特性を持ち、一定規模の観客収容数を備えた文化ホールとして利用されている。

ア 糸魚川市民会館

旧糸魚川市の市制施行20周年に合わせ、糸魚川高等学校跡地（昭和47年移転）を利用して建設した。（当時県内4番目の文化ホール）

市内外47の企業・団体から7,550万円の浄財、41の個人・企業から美術作品や備品などが寄せられた。

イ 青海総合文化会館

旧青海町の生涯学習の拠点となる文化施設として、青海中学校跡地（昭和63年移転）を利用して建設した。平成3年度に基本構想、平成4年度に基本設計、平成5年度に実施設計、平成6年度から平成7年度にかけて建設工事を実施した。

文化ホール、ギャラリー、図書館、自然史博物館を有する総合文化施設として平成8(1996)年4月にオープンした。

平成26年3月に閉館した旧青海自然史博物館部分は、その後さらにカルチャースペースとして改修工事を行い、作品展示室、舞踊等の練習や会議等に利用できるフラットスペース、ワークルームを整備し、平成29年度から供用開始した。

ウ 能生マリンホール

中小企業の勤労者福祉増進と雇用安定を目的として設置された。

当時の雇用促進事業団の補助金を活用し、平成2(1990)年7月に開館(マリンドリーム能生は平成元年6月オープン)、その後、平成15年に旧能生町が雇用促進事業団を受け継いだ雇用・能力開発機構から約100万円で購入し、市町合併後の平成18年度からは能生町観光物産センターを指定管理者とし、管理運営にあたってきた。

初期は能生事務所が所管していたが、利用者の多くが文化団体であったため、平成29年度から文化振興課(市民会館)に所管を移した。

エ ビーチホールまがたま

糸魚川総合病院の移転に伴い、跡地利用を考える中で地元と協議を進め、福祉施設を整備することで計画がスタートし、最終的にホール棟及び研修棟を備え、かつ糸魚川市社会福祉協議会事務所が入った福祉の拠点施設となった。施設全体は、福祉事務所の所管であり、施設修繕を除く管理・運営は糸魚川市社会福祉協議会へ委託している。なお、ホール棟内設備管理とホール運営は文化振興課の所管として、令和元年度から区分管理している。

〔 研修棟 研修室1・2・3・4・5、創作活動室、厨房、ボランティア室、児童室
ホール棟 多目的ホール、控室1・2、シャワー室、スタジオ 〕

事業費は1,591,471千円で、平成6～9年度に工事を実施し、特定財源は地方債1,193,800千円、県補助金100,000千円である。

② 整備規模

いずれも設置当時の人口規模及び利用想定規模に見合った整備がなされた。

市民会館は平成25・26年度に耐震補強、内装リニューアルを行なった。座席数は929席。

青海総合文化会館は音響を、ビーチホールまがたまホールと能生マリンホールは可動客席を導入した集会施設の機能に重点を置いており、座席数はいずれも約400から500程度の施設である。

各施設の特性及び利用者のTPOに応じ、使い分けされている。

施設の特徴

施設名称	特性
糸魚川市民会館	市域の中心に位置する・4館中で座席数が最多・レストランを有する・最寄駅（新幹線駅）から徒歩圏内
青海総合文化会館	図書館、ギャラリー、画廊、文化活動ルーム機能も有する複合施設・ホールは音響設備に重点が置かれている・最寄駅から徒歩圏内
能生マリンホール	可動客席・マリンドリーム能生でのイベントに親和性がある・舞台設備に乏しい・楽屋がない
ビーチホールまがたま	ホール棟と研修棟を備える複合施設・福祉の拠点施設（市社会福祉協議会が管理・運営受託）・ホールは可動客席・海の景色が良い

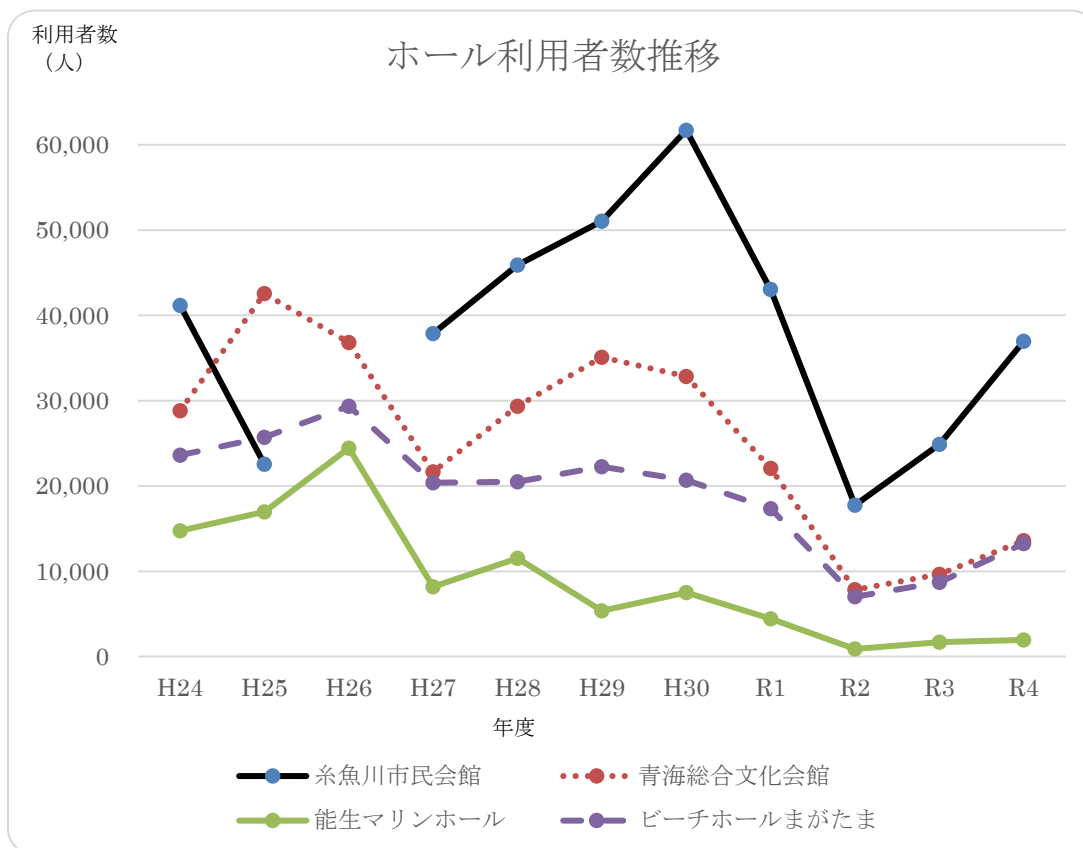
③ 配置状況

糸魚川に2か所、能生・青海地域に各1か所ずつ、計4か所に設置している。

立地的には、糸魚川・青海地域の3館は、えちごトキめき鉄道日本海ひすいラインの沿線、糸魚川駅、青海駅周辺の市街地に位置しており、能生マリンホールは能生地域の国道8号沿いの主要観光施設である「道の駅マリンドリーム能生」敷地内に設置している。

(2) 利用状況

市民会館、青海総合文化会館は、平成27年3月の北陸新幹線開業後に利用を伸ばしたが、令和2年に新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ。以降、徐々に持ち直してきている。



単位：人

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
糸魚川市民会館	41,173	22,563	※	37,878	45,897	51,035	61,723	43,019	17,744	24,885	36,988
青海総合文化会館	28,813	42,545	36,826	21,665	29,348	35,107	32,857	22,074	7,828	9,662	13,572
能生マリンホール	14,763	16,950	24,433	8,177	11,537	5,372	7,493	4,410	884	1,671	1,952
ビーチホール まがたま（ホール棟）	23,617	25,695	29,356	20,379	20,507	22,243	20,694	17,337	7,008	8,708	13,261
（研修棟）	23,602	26,804	27,423	23,262	21,091	22,873	21,255	19,687	11,362	12,213	15,431

※ 市民会館は、改修工事に伴う全館休館あり。（H25.10～H27.2）

(3) 課題

① 老朽化の対応

文化ホール4館のうち、リニューアルした市民会館を除く3館は、総じて老朽化が進んでいる。

施設の特徴から1件当たりの修繕費が多額になるため、効率の良い運用と合わせた適切な施設修繕、設備更新が必要である。

② 社会変化の影響

少子化に伴う人口減少、個人のニーズや趣味の多様化、さらに高機能情報端末等の普及による芸術鑑賞方法の変化などにより、臨場による舞台芸術鑑賞離れ（動員数の減少）が進んでいる。

③ 管理技術の課題

全国的な人口減少とともに、管理技術者は人材不足の状況にある。舞台運営や設備操作のノウハウを持つ専門技術者の計画的な確保が必要である。

④ 市内4館の調整

文化ホール4館（ビーチホールまがたま研修棟含む）について、利用者の動向、施設の特性に応じた利用の住み分け、運営スタッフ数の状況などを踏まえた適切な運用を今後も進める必要がある。

⑤ 適切な管理運営方法の選択

将来的な運営にあたり、民間委託方式（指定管理方式を含む）とすべきか、引き続き直営方式とするか、あるいは施設管理と事業実施を分けていずれかを民間委託方式とするか、状況に応じた検討が必要となる。

なお、前述のとおり、全国的に専門技術者が少なくなっていること及び当市の市民会館事業は市民利用を中心としていることから、社会経済情勢など動きを十分考慮して検討する必要がある。

平成 29 年度及び平成 30 年度の行政改革の取り組み項目として、管理運営の外部委託化を検討したが、収益性が低いホールの民間委託は経営的に非常に厳しくなると予測されたことから見送られている。

3 分析と評価

(1) 総合管理指針による分析と評価

市民会館、青海総合文化会館、ビーチホールまがたまについては、利用が設置目的に合致している。特に青海総合文化会館、ビーチホールまがたまは、複合施設として各種利用がある。

3館を通して一定の利用があり、適切に維持管理している反面、市民会館以外は老朽化が進んでいるため施設設備の改修が必要となるが、その多額な投資が施設運営に見合っているかどうか、検証しなければならない。

(市民会館は令和 6 年度に開館 50 周年となる。平成 26 年度にリニューアルしたが、躯体自体は古いものである。このことから適時、適切な整備を研究する必要がある。)

能生マリンホールは、能生体育館のリニューアル(平成 27 年度)で利用が減少傾向にあり、かつ、マリンドリーム能生周辺整備構想もあり、今後の方針を検討すべき時期が来ている。

また、幅広い年齢層、様々なニーズやバリアフリーに対応するなど有効活用に努めつつ、類似自治体と同程度の規模、施設数かどうか検証が必要である。

なお、規模別に区分する場合、市民会館は中規模ホール、その他 3 館は小規模な複合施設であるといえる。

(2) まちづくりとの関係

文化ホール 4 館は、フォーラムや講演会の会場に設定されるなど、一定規模の人員を収容できる施設として、間接的にまちづくりに関与している。また、災害など緊急時の避難場所や避難物資の受入場所としても使用されており、状況に応じた利用が可能な施設である。

(3) 利用者・入館者の動向

臨場による舞台芸術鑑賞離れ(動員数の減少)が進んでいる。ただし、催しやイベント数は一定数あるため、特に市民会館ホールは土日祝の予約が飽和状態に近く、リハーサルや準備を含めた基礎的な利用は変わっていない。

ビーチホールまがたまは、立地や座席数、そしてホールの特性上、年間を通じて展示即売会場、展覧会場、企業や団体の総会会場、研修会場としての利用が安定している。

4 整備方針

(1) 適正規模、適正配置の基本的考え方

当面は現状を維持するが、今後の人口推移を考えると、文化ホール 4 館の保有は過剰である。

市民会館は当面、文化ホールの中心施設として維持することとし、大規模改修や建て替えを検討する際は、現在の規模を上回らないものとする。(人口規模に対する施設規模の制限)

小規模の3施設については、統合や廃止を検討する必要がある。

統廃合や複合化の検討がなされる場合は、現在のホール規模を上回らない規模を検討することとするが、まず他施設による代用運営ができないかについても検討する。

【参考】隣接自治体（上越市と妙高市）の整備状況	
①上越市	
・上越文化会館 大ホール	1,504 席
中ホール	可動 170 席
・リージョンプラザ上越 コンサートホール	477 席
・市民交流施設高田城址公園オーレンプラザ ホール	606 席
・はーとびあ中郷	474 席
・ユートピアくびき希望館	474 席
②妙高市	
・妙高市文化ホール	1,012 席
・新井ふれあい会館ホール	可動 330 席

(2) 整備に関する基本的考え方

当面、通常修繕の範囲でできる限り維持していくが、専門的な技術員が確保できなくなり、現状の施設運営が困難となった場合も想定しつつ、大規模修繕の時期を見据え、統廃合や施設ごとの役割分担（ビーチホールまがたま研修棟含む）などの検討を至急進める必要がある。

5 対策の優先順位の考え方

原則として施設点検の結果及び築後経過年数、施設利用状況から優先順位を判断する。

なお、それだけでは順位付けが難しい場合、防災機能（避難所指定）などその他情報も考慮し、総合的に判断する。

6 個別施設の状態等

施設名	劣化の状況					特記事項等
	屋上屋根	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	
糸魚川市民会館	B	B	A	A	A	
青海総合文化会館	C	C	D	B	B	
能生マリンホール	B	C	B	B	B	
ビーチホールまがたま (ホール棟)	(B)	(B)	B	B	B	()は福祉事務所所管
ビーチホールまがたまホール (研修棟)	B	B	C	C	C	福祉事務所所管

(A 概ね良好 B 部分的に劣化 C 広範囲に劣化 D 広範囲に著しい劣化)

7 その他

第3次糸魚川市総合計画の施策の方向は、以下のとおりである。

文化施設の有効活用

- ・市民会館などの文化施設については、引き続き多くの方から様々な文化活動に利用されるように努めます。
- ・文化施設の利便性や効率性を考慮しながら、計画的に改修整備します。

8 令和元年度から令和10年度までの検討計画

- ・計画期間は、令和元年度から令和10年度までの10年間とする。

単位：千円

スケジュール（実績）					
施設／年度	R1	R2	R3	R4	R5
市民会館	舞台制御盤更新工事 6,498	—	—	—	—
青海総合文化会館 （きらら青海）	調光設備改修 11,880 自動制御盤交換工事 4,158 給水ポンプユニット更新 4,860	音響設備改修工事 （音響調整卓、出力調整架、パワーアンプ架取替） 20,350	吊物機構駆動マシン更新（反射板系-天井、正面） 24,750 自動制御盤改修工事 1,892 建物外壁調査業務委託 2,332	吊物機構駆動マシン更新（反射板系-両側面） 22,330	吊物機構駆動マシン更新（照明系） 30,800 舞台用カメラ設備更新工事 2,816
能生マリンホール	—	ピット内流入水排出処理及ダクト撤去工事 1,133	空調ダクト等改修工事 8,305	—	—
ビーチホール まがたま （ホール棟）	—	舞台機構改修工事 （リミットスイッチ更新） 4,114	—	—	—
（研修棟）	屋上防水改修工事 14,979	—	建物外壁調査業務委託 1,958	建物外壁補修工事 1,815	空調設備冷温水・冷却水ポンプ取替工事 3,190

スケジュール					
施設／年度	R6	R7	R8	R9	R10
糸魚川市民会館	—	—	—	—	—
青海総合文化会館 (きらら青海)	空調設備改修工 事 53,000	吊物機構駆動マシ ン更新 (照明系) 30,000	—	—	—
能生マリンホール	マリンドリーム能生周辺整備の中で検討する。				
ビーチホール まがたま (ホール棟)	—	調光操作卓改修 工事 20,000	調光基盤改修工 事 65,500	舞台音響設備改 修 90,000	—
	吊物機構機器更新または撤去等を含め、 今後の検討の中で計画する。				
(研 修 棟)	エレベーター修 繕工事 1,690	フロア床修繕 工事 3,410	建物外壁修繕工 事 5,000	研修棟屋上修繕 工事 20,000	研修棟通路シャッ ター交換工事 3,000
	玄関自動ドア修 繕工事 1,606	大型荷物運搬用 通路シャッター 交換工事 1,330	今後の方針検討を踏まえ随時修繕計画を変更する。		